

第4章 生活する／交通 1

(1) この章の到達目標

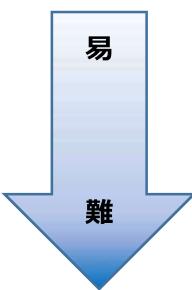
- 日本の交通ルール、特に自転車のルールについて理解する。
- 自転車の防犯登録は必須であることを理解する。
- 電車とバスの乗り方と、乗る時のマナーについて理解する。

(2) 指導する上での心構え 1

- 交通ルールは国によって異なります。**まずその違いがあることを認識し合い、日本の交通ルールを正しく理解する必要があります。
- 主な交通手段として自転車を利用する外国人は多くいます。自転車は、電車やバスとは異なり、**お金がかからないため、自転車で長距離を移動する外国人もいます。**
- しかし、**正しい乗り方・ルールを知らない**がために、危険運転となり、大きな交通事故につながる可能性があることをあまり認識していません。
- 自転車保険への加入**は、雇用者側から積極的に勧めましょう。会社で一括して加入しているケースもあります。
- 友人や先輩から自転車を譲り受ける外国人が多くいます。そのため、盜難自転車に間違われるケースも多発しています。その後のトラブル回避のため、雇用者が確認し、登録手続きまで支援することをお勧めします。

MEMO

日本語版の「第4章 生活する／交通」(4-1 交通ルール) booklet. It includes sections on walking and cycling rules, with illustrations and text. The cycling section shows a person cycling on the left side of the road, a car, and a red X indicating incorrect behavior like cycling on the wrong side or stopping at a red light.



この章のおすすめワーク (4-1,4-2)

- ①動画を見て自転車のルールを一つ一つ確認する。
- ②自国の交通ルールとの違いを話し合う。
- ③これまで自転車で危険な目にあった例（ヒヤリハット）を共有する。
- ④実際に本人の自転車を確認して、防犯登録シールや自転車保険加入マークが付いているか確認する。（未加入の場合は、一緒に手続きする。）

(3) 外国人がつまずきやすいポイント 1

つまずき事例

自転車走行中、交差点にある「止まれ」の標識で一時停止せず、車と衝突する事故に遭ってしまった。

解決のヒント！

動画を通して「止まれ」の標識の意味をしっかりと理解させ、事故の被害に遭わないよう促すことが大切です。一方で、自転車により人身事故の加害者になるケースがあることも伝え、事故を起こした場合、多額の損害賠償責任が発生する可能性についてもきちんと伝えましょう。また、交通ルールの認識は時間の経過とともに忘れがちですので、動画や教材を活用し、定期的にルールを守ることを喚起するとよいでしょう。



4-2 自転車防犯登録の仕方

【自転車防犯登録】

■ 自転車を買ったときやもらったときは、登録をします。

＜登録シール＞

見本
13-0999
登録番号

■ 自転車を買ったとき ➡ 新しく登録します。
■ 自転車をもらったとき ➡ 登録の名前を変えます。

【自転車を駐車するとき】

① 自転車は必ず駐輪場に止めてください。

② 道路上に止めてはいけません。
(回収業者に片づけられます。)



4-3 公共交通機関の乗り方

【公共交通機関の種類】



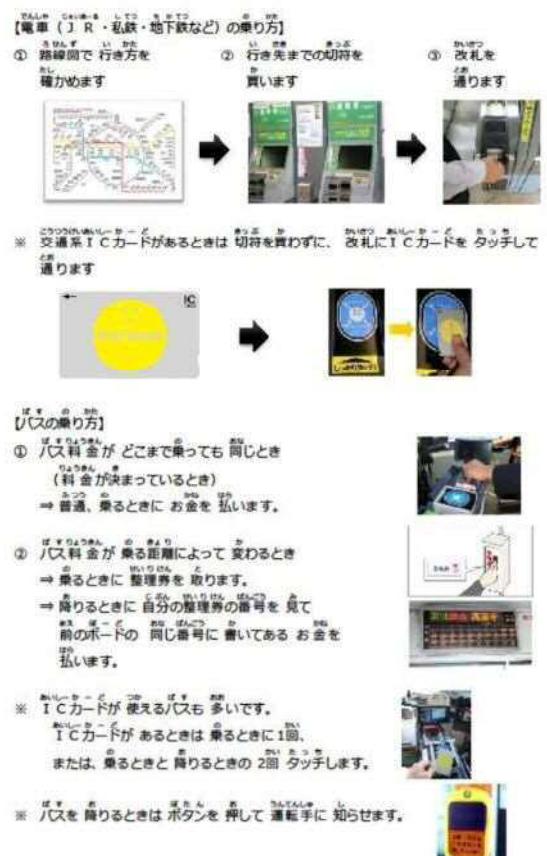
(4) 指導する上での心構え 2

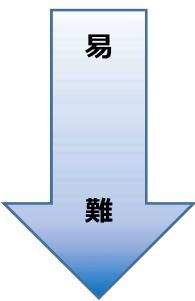
- 自国では電車や地下鉄を利用する機会が少ない外国人もいます。そのため、来日して初めて公共交通機関に乗る時に、戸惑うことがあります。
- 日本の交通機関網（路線図）は複雑で駅名も覚えにくいため、慣れるまでに少し時間がかかります。
- 可能であれば、来日後、早い段階で、電車やバスの乗り方を実地で教え、体験させる機会を設けると安心です。
- 乗車マナーについて、日本では常識と思われていることも、外国ではそうでないことがよくあります。例えば、整列乗車や降りる人を待ってから乗車するというルールや習慣がない国があります。
- また、知らず知らずのうちに車内で大きな声でおしゃべりに興じてしまう外国人もいますが、逆に、外国人からすれば、日本の電車内は静か過ぎるという印象を持たれることもあるようです。

コラム やさしい日本語②

「やさしい日本語」のコツを紹介します。

- ① ゆっくり はっきり 話す
- ② 一文は短く
- ③ 文末はシンプルに
(例:「～できないってわけじゃないんだけど」→「できません」)
- ④ 難しい言葉は簡単に
(例:「作業終了したらちょっと休憩してくださいよ」→「作業が終わったら 10分休んでいいです」)
- ⑤ 具体的に伝える
(例:「騒音」について「夜何時以降はダメ」「音量の程度」等)
- ⑥ 曖昧な表現や擬音語・擬態語は避ける
(例: ×「ちゃんとやって」)
- ⑦ 写真やイラスト、実物を見せたり、ジェスチャーを付けながら説明する





この章のおすすめワーク (4-3)

- ①最寄り駅やバス停の名前、場所を確認する。
- ②自国と日本の公共交通機関に乗る際のマナーの違いを共有する。
- ③自宅から職場までの通勤経路を実際に回り、電車やバスの乗り方を確認する。
- ④P26 をみながら、愛知県内で行ってみたい場所を聞き、自宅から目的地までの経路（公共交通機関）を調べる。

(5) 外国人がつまずきやすいポイント2

つまずき事例

電車やバスの中では静かにするという日本のルールを理解していないために、携帯電話で大きな声を出して話をしました。

解決のヒント！

日本では、電車やバスは静かに乗車し、他の人に迷惑をかけないようにすることが正しいマナーであることを伝え、自国との文化や習慣の違いを理解させます。その際、自国での乗車ルールについても共有してもらい、日本のルールと比較させながら学ぶことで理解が深まるでしょう。



MEMO

だい しょう せいかつ こうつう わーくしーと
第4章「生活する／交通」ワークシート

くに
国：

なまえ
名前：

ひ 日にち： がつ 月 日 () ようび 曜日

<p>1 じでんしゃ の きけん 自転車に乗っていて危険だと おも思ったことはありますか。 それはどんなときでしたか。</p>	
<p>2 にほん じでんしゃ の 日本の自転車に乗るときの る一のルールで正しいものはどれ ですか。○をつけてください。</p>	<p>と ひょうしき ところ と 「止まれ」の標識のある所で止まります。 ()</p> <p>さけ の じでんしゃ の お酒を飲んだあと、自転車に乘ります。 ()</p> <p>へつどほん おんがく き の ヘッドホンで音楽を聞きながら乗ります。 ()</p>
<p>3 じぶん じでんしゃ み 自分の自転車を見て、 みぎ ふた し ー る 右の2つのシールがあるか かくにん 確認してください。</p>	<p>ぼうはんとうろく しーる 防犯登録シール</p>  <p>じでんしゃ ほけん かにゅうま ー く 自転車保険加入マーク</p> 
<p>4 す あばーと りょう 住んでいるアパート・寮に ちか えき ばすてい なまえ 近い駅やバス停の名前を か 書いてください。</p>	<p>えき なまえ 駅の名前 ()</p> <p>ばすてい なまえ バス停の名前 ()</p>
<p>5 にほん でんしゃ ばす の 日本で電車やバスに乗るときの まなーただ マナーで正しいものはどれですか。 ○をつけてください。</p>	<p>でんしゃ ばす の れつ なら ま 電車やバスに乗るとき、列に並んで待ちます。 ()</p> <p>でんしゃ ばす の お ひと ま 電車やバスに乗るときは、降りる人を待たない いそ の で、急いで乗ります。 ()</p> <p>でんしゃ ばす なか けいたいでんわ はなし 電車やバスの中で、携帯電話で話をします。 ()</p>